



仁淀川地域

～第1期産業振興計画（地域アクションプラン）の総括～（案）

1 各分野の取り組みの総括

農業

- 地域の特色ある農産物を活かした取り組みが進んでいる。
 - ・ 選果設備の導入によりシュガートマトの付加価値化への取り組みを展開
 - ・ 薬用作物の産地育成への取り組みが進み作付面積が拡大（H20 → H23）
ミシマサイコ（37.9ha → 48ha）、サンショウ（15.5ha → 62ha）
 - ・ 仁淀川流域茶(仕上げ茶)の販売量が拡大
H19（茶全体の7%） → H23（茶全体の13.5%）
 - ・ 食用ワサビの加工出荷量、生姜の加工品販売額の増加
ワサビの加工出荷量 H21（60.0t） → H23（71.3t）
生姜加工品の販売額 H22（114百万円） → H23（118百万円）
- ※従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加が進むなか、立地条件を活かした品目栽培への取り組みが、今後ますます重要になる。

林業

- 間伐の取り組みが進み、既設の「森の工場」(5工場)に加え、新たに8工場が設置された。
 - ・ 仁淀川町 6地区（大西、太田、安居土居、成川、長者大植、岩柄、中地区）
 - ・ いの町 2地区（成川、越裏門）
 - 特用林産物（シキミ、サカキ）の生産拡大に取り組んだが大規模生産者の生産中止等により出荷量が減った。
シキミ・サカキの出荷量 H19（22t） → H23（19t）
- ※今後は、担い手の育成や新たな特用林産物への取り組みが重要になる。

水産業

- 「宇佐の一本釣りうるめ」のブランド化への取り組みにより、加工品の開発や販売が進んでいる。
 - ・企業組合宇佐もん工房の売上高 H21（1,407千円）→ H23（19.835千円）
- ※今後は、宇佐もん工房の経営の安定化への取り組みが重要になる。

商工業

- 地域資源を活用した商品開発への取り組みが進んでいる。
 - ・佐川町における「地乳」を使った加工品の商品化
 - 地域製品の販売拠点の整備や地域資源を活用した製造施設の誘致が進み、雇用機会の創出につながっている。
 - ・観光物産館 おち駅（新規雇用2名）
 - ・(有)エスエス（新規雇用4名）
 - ・澁谷食品(株)（新規雇用3名）
- ※商工業分野では、地域資源や自社の強みをいかに活用していくかが重要になる。

観光

- H22年度に広域観光を推進する母体となる仁淀川地域観光協議会が設立され、仁淀川流域の市町村等が連携した広域観光への取り組みが進んでいる。
 - ・仁淀川地域でのツアーの催行（H23：20ツアーで663人の参加）
 - 施設整備や体験型メニュー強化等への取組が進んでいる。
 - ・観光物産館 おち駅の整備（H22）
 - ・ラフティング事業の開始（H23～、いの町・越知町）
- ※今後は、一体的な情報発信や魅力ある観光地づくり、受入体制の充実・強化への取り組みが重要になる。

2 主要な指標及び目標に対する実績値

| 項目 | 目標 | 実績 |
|------------------|-----------------------------|--------------------------|
| ニラの販売額 | H23：5.5億円 | 5.1億円 |
| 高糖度トマトの販売額 | H23：5億円 | 4.1億円 |
| 仁淀川流域茶（仕上げ茶）の販売量 | H23：茶全体の15% | 茶全体の13.5% |
| 薬用作物の作付面積 | H23：ミマサイコ55ha サンショウ 40ha | ミマサイコ 48ha サンショウ 62ha |
| 木材の素材生産量 | H23：7.1万m ³ | 4.6万m ³ （見込み） |
| うるめの水揚量 | H23：150t | 98.5t |
| 土佐和紙の販売額 | H23：1.6億円 | 1.2億円 |
| 公共関連宿泊施設での宿泊者数 | H23：60,000人 | 48,015人 |

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ①

○農業分野での取り組み

No1 地域の基幹品目及び推進品目等の
産地の維持・発展

JAとさし(土佐市)

No3 土佐文旦の加工

JAとさし、菊水酒造(株)、土佐文旦加工
組合、ひまわり乳業(株)(土佐市)

【取り組みの内容】

◆文旦集出荷体制の強化

JAとさし集出荷施設整備、光センサー選果
機等の導入(H21・22産振補助金を活用)

◆規格外品を活用した新たな加工品の開発



【主な成果】

- ・JAとさしと菊水酒造との連携による加工
品用の文旦搾汁量
14.5 t (H21)→24.3 t (H23)
- ・土佐文旦加工組合とひまわり乳業(株)との
連携により開発された新商品「土佐ぶん
たん」(飲料)によって文旦の認知度が
向上

【課題と今後の方向性】

文旦の販売拡大、果汁を使った商品の開
発と販売の促進



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ②

○農業分野での取り組み

No4 生姜の加工 (生姜出荷施設整備事業) (株)前川博之商店 (土佐市)

【取り組みの内容】

- ◆生姜加工商品の生産体制の強化
生姜漬物充填機等の導入 (H22産振補助金を活用)
- ◆加工商品の受注増への対応
新加工工場の建設 (H23産振補助金を活用)



【主な成果】

- ・生姜加工商品の売上高
82,909千円 (H21)→118,311千円 (H23)
- ・雇用の創出：正2人

【課題と今後の方向性】

- ・原材料である生姜の確保
- ・新たな販路の開拓



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ③

○農業分野での取り組み

No 11 力強い高糖度トマト産地の確立
JAコスモス、JAコスモストマト生産部会
(日高村、仁淀川町、佐川町)

【取り組みの内容】

- ◆選果設備（光センサー、トレーサビリティシステム）の導入（H21産振補助金を活用）
- ◆シュガートマトの付加価値化の展開（H22・23産振補助金を活用）



【主な成果】

糖度10以上の最上級品など3ランクの商品
設定による付加価値のアップ

糖度10以上：ロッコ

糖度8以上：ビアンコ

糖度7以上：ヴェルデ

※単価（円/kg）がアップ

669円（H20）→ 794.6円（H23）

【課題と今後の方向性】

安定的な生産体制の確立と差別化による
販売戦略の展開



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ④

○水産分野での取り組み

No 18 うるめのブランド化

企業組合宇佐もん工房（土佐市）

【取り組みの内容】

- ◆「宇佐の一本釣うるめ」を原料にした新たな加工品の開発や鮮魚の販路開拓による需要の拡大
- ◆加工製品の生産体制の確立
加工工場の建設及び加工機器の整備（H22産振補助金を活用）



【主な成果】

- ・企業組合宇佐もん工房の売上高
1,407千円（H21） → 19,835千円（H23）
- ・雇用の創出：正4人

【課題と今後の方向性】

販路の拡大、新商品の開発



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑤

○商工分野での取り組み

No21 地域産品を活用した冷菓等の製造
(有)高知アイス (いの町)

【取り組みの内容】

- ◆生産体制及び品質管理の強化
浄化槽の大型化、付属品取付機の導入
(H22産振補助金を活用)
- ◆海外での販売の拡大
海外向けパンフレットの作成、自社サイトの
リニューアル (H23産振補助金を活用)



【主な成果】

- ・高知アイスの売上高
291,698千円 (H21)→349,375千円 (H23)
- ・雇用の創出：正2人

【課題と今後の方向性】

- ・海外市場での販路拡大
- ・国内販売の拡大に向けた新商品開発
- ・売上高の増に伴う生産設備の拡充



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑥

○商工分野での取り組み

No 22 (株)フードプランの地域商社化への取り組み

(株)フードプラン、仁淀川町（仁淀川町）

【取り組みの内容】

- ◆カット野菜事業の販路拡大
工場の専用水道施設整備（H21産振補助金を活用）
- ◆新商品の開発



【主な成果】

- ・(株)フードプランの販売額
H20：2.3億円 → H23：3.4億円
※四国内全ての量販店まで販路が拡大
- ・地元の生産者団体と連携し池川茶を使った「茶畑プリン」を開発
生産者団体が(株)池川茶園を設立しお茶を使ったスイーツの製造販売を開始（H23.4～）

【課題と今後の方向性】

取引拡大に対応できる施設規模の拡大や
原材料の安定した調達、付加価値の高い
新商品の開発



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑦

○商工分野での取り組み

№ 23 売れる商品づくりによる地産外
商の推進
企画本舗さかわ屋、JAコスモス、佐川町
など（佐川町）

【取り組みの内容】

- ◆地元産牛乳のブランド化や加工品の消費拡大
 - ・地乳（ぢちち）のPRと消費者のニーズ調査のためのマーケティングの実施
 - ・商品化、販促活動の実施（H22・23産振補助金を活用）



【主な成果】

- ・地乳加工品の商品化による認知度の向上（H21～H22）
 - 地乳パン、地乳プリン、地乳あيس
 - ※「地乳あيس」
 - H23年度 土佐のいい物おいしい物発見コンクールで優秀賞を受賞
- ・地乳出荷量の拡大
 - H21：240t → H23：366t

【課題と今後の方向性】

地乳を使った加工品の開発促進と「ぢちち」ブランドの確立、販売の促進



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑧

○商工分野での取り組み

No 25 地元企業の活性化（芋菓子加工
販売拡大事業）
渋谷食品(株)（日高村）

【取り組みの内容】

- ◆芋菓子加工施設の整備
（H21産振補助金を活用）
- ◆県内の芋産地（大月町芋づくり等産地化育成
協議会）との連携による原材料の確保



【主な成果】

- ・食品加工新規部門の販売額
H21：2.0億円 → H23：3.2億円
- ・原材料のサツマイモの取扱量の増加
H21：100t → H23：205 t
- ・雇用の創出：正3人、短4人

【課題と今後の方向性】

原材料となる芋の収量確保や大月町での
良質の芋の栽培の促進



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑨

○商工分野での取り組み

No 26 企業進出による雇用の増（ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業）
（有）エスエス（日高村）

【取り組みの内容】

- ◆ネコ砂の製造施設の整備（H22産振補助金を活用）
県外メーカー（アース・バイオケミカル株）のOEM委託



【主な成果】

- ・ 原材料への地域資源の活用
茶葉：4.4t
木質チップ：166m³
木質ペレット：5m³
- ・ 雇用の創出：正4人

【課題と今後の方向性】

受注増に合わせた人員体制の確立



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑩

○観光分野での取り組み

No 37 越知町の総合的な観光推進と地
場産品の販売促進
越知町観光協会、JAコスモス、越知町など
(越知町)

【取り組みの内容】

- ◆観光物産館「おち駅」のオープン（H22.4）
（H21・22産振補助金を活用）
- ◆観光協会による体験型観光の推進（H22産振
補助金を活用）
カヌー・ラフティングの開始（H23.7～）



【主な成果】

- ・「おち駅」直販市等の売上高
H21：30百万円 → H23：54百万円
- ・カヌー、ラフティングの利用人数（H23）
2,000人（コスモス祭りのカヌー体験
1,800人を含む）
- ・雇用の創出：正2人

【課題と今後の方向性】

販売促進や収益のアップに向けた財務ア
ドバイザーや産業振興アドバイザー制度の
活用



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑪

○観光分野での取り組み

仁淀川流域の広域観光の推進

土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村、いの町観光協会、越知町観光協会

【取り組みの内容】

- ◆仁淀川流域全体の観光情報の発信
- ◆流域市町村等と連携した旅行商品の企画と旅行会社への売込
- ◆流域の特産品のPR事業の実施



【主な成果】

- ・仁淀川地域観光協議会の設立によって広域観光の推進体制が確立（H22）
- ・旅行会社によるツアーの実施
20本催行、参加者663人（H23）

【課題と今後の方向性】

「仁淀ブルー」や「土佐和紙」をテーマにしたNHKの仁淀川関連番組の放送を契機として仁淀川の知名度が高まってきており、今後は「奇跡の清流仁淀川」をキャッチフレーズに効果的な観光・物産品のPRを展開



4 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用実績等

【活用実績】

平成21年度 10件 193,468千円（農業4件、水産業1件、商工業4件、観光1件）

平成22年度 11件 115,408千円（農業5件、水産業1件、商工業3件、観光2件）

平成23年度 10件 93,773千円（農業6件、商工業3件、観光1件）

※24年度への繰越1件を含む

計 31件 402,649千円（農業15件、水産業2件、商工業10件、観光4件）

【雇用の創出（H21～H23年度）】

| | H23年度実績 (H21・22の雇用の継続分を含む) | うち産業振興推進 総合支援事業費補 助金関連 |
|--------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 地域アクションプランに伴う雇用の増加 | 60人 | 53人 |

地域アクションプランにおけるふるさと雇用事業の活用人数 16人